

特集

# データガバナンスを 支える基盤技術特集

サイバー・フィジカル空間を融合した世界には、  
人に関する情報、モノに関する情報を含め多くの情報が流通している。  
そのような世界を支えるには従来のセキュリティだけではなく、  
それらを安心して利用するためにはデータガバナンスという新たな考え方が必要になる。  
本特集ではNTT研究所のデータガバナンスの考え方から、  
さまざまな視点でデータガバナンスを支える基盤技術について紹介する。

データガバナンス

トラステッド・データスペース

セキュア光トランスポート

セキュリティ・  
トランスペアレンシー

IOWN

# Data Governance

## IOWN時代のデータ流通を実現するデータガバナンス ————— 36

データの所有者が安全にデータを他者と共有できるようにデータをコントロールするデータガバナンスの考え方、およびIOWN時代のデータガバナンスに求められる要件について紹介する。

## IOWN時代のデータガバナンスを実現するトラステッド・データスペース技術 ——— 41

IOWNが普及しすべての情報がデジタルツインや AI（人工知能）によって活用される時代を支えるデータ流通基盤であるトラステッド・データスペースについて、その構成要素を紹介する。

## 量子コンピュータ時代を見据えたセキュア光トランスポートネットワーク技術 ——— 45

量子コンピュータ時代にも考慮する必要がある、クリプトアジリティ、マルチファクタセキュリティといった考え方を解説し、これらの考え方をセキュア光トランスポートネットワークに取り入れるための取り組みについて紹介する。

## セキュリティトランスペアレンシー確保技術による

## ソフトウェア構成の分析・可視化 ————— 50

サプライチェーンを介して、製品・サービス・事業環境がセキュリティ侵害を受ける「サプライチェーンセキュリティリスク」が顕在化している中、NTT研究所が取り組んでいるセキュリティの透明性を確保する技術について紹介する。

## IOWNプロダクトデザインセンタがめざす、IOWN技術の早期実装・普及 ——— 53

NTT研究所が取り組んでいるデータガバナンスを支える基盤技術を活用し、現在のIOWN技術をさらに拡張していく実証計画や、そこで生まれる新たな提供価値について紹介する。

## 主役登場 菊池 亮（NTT社会情報研究所） ————— 57

データを安全に流通させられる仕組みをめざして